

資料番号	8
------	---

令和5年8月18日
課名 土木建築局空港振興課
担当者 課長 柴田
内線 4010
課名 土木建築局港湾振興課
担当者 課長 吉牟田
内線 4018
課名 土木建築局港湾漁港整備課
担当者 課長 高橋
内線 4002

## 「広島県みなと・空港振興プラン2021」の進捗状況について

### 1 要旨・目的

「広島県みなと・空港振興プラン2021（以下、「計画」という）」に掲げる成果目標等の進捗状況について、総点検を行ったので、その結果を報告する。

### 2 現状・背景

社会資本未来プランの関連計画として、本計画を令和3年3月に策定（計画期間：令和3年度～令和7年度）し、計画的に事業を推進している。

この度、計画策定から2年が経過したことから、進捗状況の取りまとめを行うとともに、進捗状況を踏まえた今後の見通しも含めて報告するものである。

### 3 概要

#### (1) 対象者

県民及び空港・港湾利用者

#### (2) 事業内容（実施内容）

##### ア 事業量確保の状況

投資額については、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」など有利な財源を最大限活用しながら事業量の確保に努め、計画期間（令和3年度～令和7年度）の投資予定額約410億円に対し、令和5年度当初予算までの実績は309億円となっている。

##### イ 事業実施状況（令和5年7月末時点）

計画箇所数46箇所のうち、37箇所で事業に着手しており、このうち、完成箇所については、計画している16箇所に対して、1箇所の完成となっている。

区 分		計画箇所数（R3～R7）			事業化箇所数	
		完成	継続	計		うち完成
港湾	直轄	2	3	5	4	1
	補助	11	22	33	27	0
	小計	13	25	38	31	1
漁港	補助	3	5	8	6	0
	小計	3	5	8	6	0
合計		16	30	46	37	1

※事業化箇所数には、調査設計などに着手している箇所を含む。

※完成には、一部完成を含む。

ウ 主な新規着手箇所（R3～R5）

区 分		港 名	箇所・地区名	市町名
港湾	直轄	広島港	出島地区	広島市
	補助	大竹港	小方地区・飛石地区	大竹市
		厳島港	胡町地区	廿日市市
		鹿川港	鎌木地区	江田島市
		大西港	大西地区	大崎上島町
		土生港	土生地区	尾道市
漁港	補助	草津漁港	草津地区	広島市

エ 主な完成箇所（R3～R5）

区 分		港 名	箇所・地区名	市町名
港湾	直轄	福山港	箕沖地区	福山市

オ 成果指標による点検結果

港湾・漁港のハード整備については、適切な工事発注や工事工程の把握、調整などを行いながら計画的に事業を実施しているところであり、加えて、計画に影響を与えるような重大な課題なども発生しておらず、概ね順調に進捗している。

放置艇対策については、新型コロナウイルス感染症の影響による交渉機会の減少や、泊地指定に向けた関係者との協議が一部難航したため、放置艇から許可艇への転換に遅れが出ているが、令和4年10月に改定した「放置艇解消のための基本方針」に基づき、令和7年度末の放置艇解消に向け、取り組んでいる。

空港振興については、新型コロナウイルス感染症の影響による、利用者数・便数の落ち込みはあるものの、本年5月のコロナの5類移行及びG7広島サミットの効果により着実に回復しており、令和7年度の目標達成に向け取り組んでいる。

■みなと振興

施策項目	項目	目標・指標				
		現状値 (R2)	目標値 (R7)	目標値 (R4)	実績 (R4)	進捗 状況
物流・交流 を支えるみ なとづくり	県内港におけるコンテナ取扱量(ビジョン指標)	36万TEU (R1)	42万TEU	—	36万TEU	順調
	県内港から東南アジア主要港までの外貿コンテナの海上輸送日数(平均)(KPI)	14日	11日	14日	14日	順調
	港湾に関連する新たな物流・工業用地の提供(※1)	—	+29ha	—	+10ha	順調
生活・暮らしを支える みなとづくり	港湾における緊急物資供給可能人口カバー率(※2)	33%	53%	—	33%	順調
	BCP策定漁港数(第3種漁港 ※3)	0%	100%	—	0%	順調

施策項目	目標・指標					
	項目	現状値 (R2)	目標値 (R7)	目標値 (R4)	実績 (R4)	進捗 状況
地域活動を 支えるみな とづくり	みなとオアシス登録 数	13 箇所	15 箇所	—	14 箇所	順調
港湾・漁港 施設の有効 利用や適切 な維持管理 の推進	ビジター船舶係留可 能箇所数	18 箇所	19 箇所	—	18 箇所	順調
	ビジター棧橋の年間 利用隻数	約 4.7 千隻・日 (R1)	6.7 千隻・日	—	約 3.8 千隻・日	遅れ
	放置艇隻数	約 11 千隻 (H30)	0 隻	—	約 8 千隻	遅れ

(※1) 令和3年度から令和7年度の期間中において、新たに利用や引渡しが可能となる用地面積

(※2) 耐震強化岸壁により緊急物資の供給が可能となる人口割合

(※3) 利用範囲が全国的な漁港

## ■空港振興

施策項目	目標・指標					
	項目	現状値 (R2)	目標値 (R7)	目標値 (R4)	実績 (R4)	進捗 状況
航空ネットワ ークの拡充	広島空港利用者数 (ビジョン指標)	297 万人 /年(R1)	310 万人 /年	—	204 万人 /年	遅れ
	国際定期路線数・ 便数 (KPI)	5 路線・ 26 便/週	7 路線・ 31 便/週	6 路線・ 21 便/週	1 路線・ 4 便/週	遅れ
空港アクセス の利便性向上	広島空港と主要拠 点を結ぶ公共交通 ルート数 (KPI)	9 ルート	12 ルート	10 ルート	10 ルート	順調

## 遅れの要因と対応

### ■みなと振興

項目	要因	対応
ビジター棧橋 の年間利用隻 数	新型コロナウイルス感染症に よる行動制限や感染拡大防止 対策による施設の受入中止等	ポートショーへの出展等により広 島県へのクルージングをPRする ことで、ビジター棧橋の利用隻数 の増加を図る。
放置艇隻数	新型コロナウイルス感染症に よる関係者との交渉機会の減 少や小型船舶用泊地の指定に 係る協議の難航等	地域の実情に応じた手法等を関係 事務所間で共有するなどして、交 渉難航地区における放置艇から許 可艇への転換を加速させる。

## ■空港振興

項目	要因	対応
広島空港利用者数	新型コロナウイルス感染症の影響による、R 2. 3月以降の国際線全路線運休及び復便・新規就航の遅れ	新型コロナからの回復期及びG 7広島サミット後の広島への関心の高まりにより見込まれる大きな需要を取り込めるよう、広島空港振興協議会を通じて、効果的な利用促進策を実施する。
国際定期路線数・便数	新型コロナウイルス感染症の影響による、航空会社の経営資源（保有機材や人員等）削減、物価上昇及び空港人材の不足による運航コストの高騰等	路線維持や早期復便・就航を後押しするため、航空会社等に対して、必要な支援策を継続する。また、空港人材の確保については、短期・中長期的な観点で空港運営権者等と連携し、効果的な施策を検討・実施する。

### (3) スケジュール

—

### (4) 予算（R 5当初予算、R 4補正予算）

109 億円

### (5) 今後の対応

#### ■みなと振興

ハード整備については、引き続き、計画に掲げる目標・指標の達成に向け、事業実施状況の点検や適切な工程管理などを行いながら、着実な事業進捗を図る。

放置艇対策については、引き続き、計画に掲げる目標・指標の達成に向け、地域の実情に応じた成功事例を関係事務所で共有・波及させるなどして放置艇から許可艇への転換の加速を図るとともに、SNSの活用などによる係留保管場所の届出制度の周知促進や、放置艇対策を総合的に進めるための全国的な制度創設を国に働き掛けていく。

#### ■空港振興

空港振興については、広島国際空港（株）と協働し、国際線航空ネットワークの早期再構築に取り組むとともに、新型コロナからの回復期及びG 7広島サミット後の広島への関心の高まりにより見込まれる大きな需要を確実に取り込めるよう、効果的な利用促進策を実施するなど、旅客・貨物需要の拡大に取り組んでいく。

また、空港アクセスについては、関係機関と連携し、新たな路線の拡充だけでなく、既存路線の維持も含めて、将来的に持続可能な仕組みを検討するなど、中長期的な視点に立った取組を進めていく。

## 4 その他（関連情報等）

—

## 港湾

### 福山港 箕沖地区 ふ頭再編改良事業(福山市)

#### 背景・整備効果

福山港は背後圏に鉄鋼業や造船業等、企業の事業所が多数立地しており、我が国の基幹産業である製造業及び地域の経済・雇用の成長を支えるため、重要な役割を有している。鋼材や船舶及び造船関連資材の輸出増加が見込まれているが、岸壁が大型船非対応のため、非効率な輸送や滞船が発生している。このため、貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁を整備することで、地域産業の国際競争力の強化を図る。

#### 事業の概要

事業内容： 岸壁(水深10m)、航路及び泊地(水深10m)、ふ頭用地

全体事業費： 約53億円

進捗段階： 完了

位置図



整備前



整備後